

# 建 物 緑 化 の 手 引 き

～環境にやさしいまちづくりへ～



藤沢市 都市整備部 みどり保全課

電話：0466-25-1111（内線4352）

FAX：0466-50-8421

e-mail：[fj-midori@city.fujisawa.lg.jp](mailto:fj-midori@city.fujisawa.lg.jp)

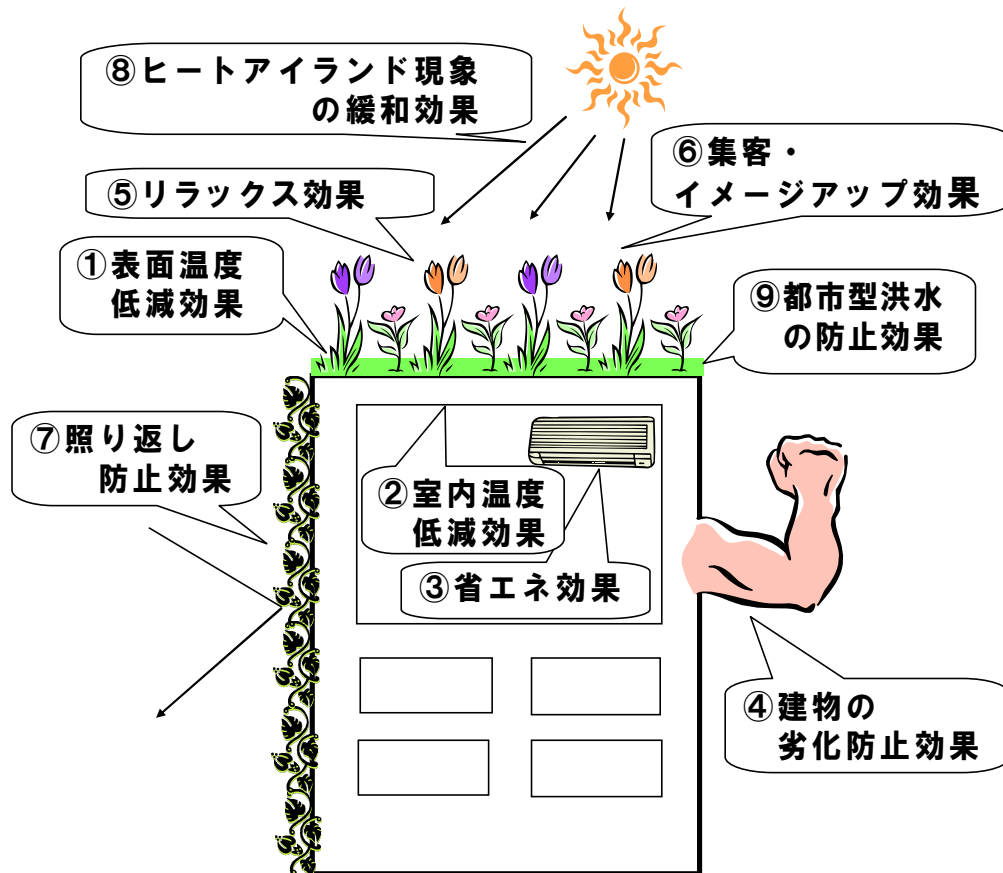
ホームページ <https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/midori/machizukuri/kankyo/ryokuka/josesedo.html>

## もくじ

1	建物緑化の効果	1
2	屋上緑化	
(1)	屋上環境特性	2
(2)	植栽荷重	2
(3)	植栽基盤	3
(4)	防水工事	4
(5)	屋上緑化の工法	5
(6)	屋上緑化の施工例（個人住宅）	6
3	壁面緑化	
(1)	壁面環境特性	7
(2)	壁面緑化する上での注意事項	7
(3)	壁面緑化の植栽基盤	8
(4)	壁面緑化の工法	8
4	緑のカーテン	
(1)	緑のカーテンとは	9
(2)	緑のカーテンのつくり方	9
5	藤沢市建物緑化の助成制度	
(1)	制度概要	13
(2)	藤沢市建物緑化助成金交付要綱	17
(3)	建物緑化の義務化	21
(4)	建物緑化の助成フロー	22
(5)	建物緑化助成の必要書類	23
(6)	よくある質問への回答	25
(7)	申請書類	27
6	植栽樹種	
(1)	体表的な中高木植物	35
(2)	体表的な低木植物	36
(3)	グラウンドカバープランツ	37
(4)	ツル植物	38
(5)	緑のカーテンに適する植物	40



# 1 建物緑化の効果



- ① 屋上の緑化されている面とタイルやコンクリート面では、表面温度に 20℃もの温度差が見られると試算されています。
- ② 真夏時、屋上を緑化することによって室内への熱の流入が妨げられるため、昼夜を問わず室内温度を 30 度以下に低減できます(植栽していない建物に比べて最大 10℃減)
- ③ 屋上を緑化することによって、夏は建物の温度上昇を抑え、冬には熱の発散を抑えて、冷暖房に使われるエネルギーを約 4%節約することができます(夏涼しく、冬暖かい、快適な室内空間をつくることができます)
- ④ 屋上緑化や壁面緑化によって建物の表面温度を一定に保つことができるため、建物の劣化を防ぐことができます。
- ⑤ 屋上という日当たりや風通しがよい環境で植物を育てることにより、リラックス感の向上効果や視覚疲労回復効果が期待できます。
- ⑥ 屋上を緑化することは、話題性、宣伝効果が高く、商業施設やレクリエーション施設の集客効果が十分に期待できます。
- ⑦ 建物の壁面を緑化することで、夏の暑さを増す不快な反射光となる建物のガラスや壁面、ブロック塀からの照り返しの大半を解消することができます。
- ⑧ 建物緑化が都市の中に増えると、小さな効果が重なり合い、都市全体の気象状況が改善され、ヒートアイランド現象を緩和することが可能となります。
- ⑨ 屋上や壁面を緑化することで、一時的に雨水を貯留し、雨水流出を遅らせることができるため、温暖化による異常気象で頻発している集中豪雨と、それに伴う都市型洪水を防止する効果が期待できます。

## 2 屋上緑化

### (1) 屋上環境特性

屋上は、光と水については基本的に十分確保され、広い面積に地上と同じように緑化することができます。ただし、階数の高い位置につくられるものほど風の影響（強風・乾燥など）を受けやすくなります。また、建物の多くは屋上にエレベーター施設や貯水槽を設けるため、純粋に緑化できる空間は限られる場合があります。下の表は、屋上の環境特性と考慮すべき留意点です。計画する屋上に当てはまる特性は十分考慮して、無理のない計画を立てましょう。

条件項目	環境・特性	計画上の留意点
風	地上からの高さが高くなるにつれ風が強くなり、背の高い植物などが風で倒れる危険性がある。また、 <u>海岸に近い場所では、潮風害の心配がある。</u>	囲いや生垣などで風を防ぐ、あるいは風（潮風）に強い植物を選ぶ。また、植物が風で倒れないように固定する。
温度	夏場の屋上面は場所によって50～80℃に達し、植物にとっては生育しにくい環境となる。	暑さに強い植物を選ぶ。
湿度	屋上は地下からの水分供給がなく、風が強いいため乾燥しがちである。	保水力のある土壌を選ぶ、あるいは自動灌水装置やマルチング材を検討する。乾燥に強い植物を選ぶ。
日照	光条件は地上よりもむしろ良好だが、場所によっては周囲の建物によって陰となる場合がある。	植える場所によって日向を好む植物か日陰を好む植物かを考えて選ぶ。
その他	場所によっては、設備排気によって植物が良好に生育できない場合がある。	植栽する位置を考えるか、直接排気があたらないように工夫する。

### (2) 植栽荷重

屋上の緑化は、建物に相当の荷重をかけることになるので、大前提として屋上が緑化に耐えられる構造なのかどうかを確認する必要があります。新築の場合は、あらかじめ植栽分の重さ（土壌・排水層・植物の総重量）も考慮して設計しましょう。すでに建っている建物の屋上を緑化する場合は、設計会社や建てた工務店などに緑化に耐えられる構造かどうかを確認しましょう。建物の構造計算書があれば、可能か否か判断することができます。緑化が可能な構造であることを確認した上で、決められた荷重の範囲内でどれだけ緑化できるかを検討します。一般的には、地震力荷重（地震が来ても耐えられる荷重限界）以下に納まるように緑化の仕様を検討します。できるだけ軽量で、かつ屋上全体に均等に荷重がかかるような計画を立てましょう。

建物の種類別 一般的な屋上またはバルコニーの積載荷重

種類	床の構造計算時	大梁、柱の計算時	地震力計算時
一般住宅・事務所	180kg/m <sup>2</sup>	130kg/m <sup>2</sup>	60kg/m <sup>2</sup>
学校または百貨店	300kg/m <sup>2</sup>	180kg/m <sup>2</sup>	130kg/m <sup>2</sup>

重量のある高木やプランターなど一箇所に荷重が集中するような場合は、柱や梁の上部に配置しましょう。また、植物は生長するにつれ荷重も増えていきますので、将来形も考慮して計画を立てましょう。

### (3) 植栽基盤

屋上緑化で使用される土壌には、自然土壌、改良土壌、人工軽量土壌があります。それぞれ比重や必要な土壌の厚さ、排水装置の有無、施工性などに違いがありますので、荷重条件等にあった土壌を選択していく必要があります。

特に既存の建物の屋上に緑化する場合は、荷重条件が厳しい場合が多いので、人工軽量土壌や軽量バックアップ材（発泡スチロールの嵩上げ材）を活用したり、芝生や低木など土壌厚が薄くても生育可能な植物を選ぶことにより軽量化を図ります。

工法	自然土壌工法		改良土壌工法		人工軽量土壌工法		薄型人工軽量土壌工法	
標準断面図								
芝生	土壌厚	30 cm	土壌厚	30 cm	土壌厚	15 cm	土壌厚	8 cm
	排水層厚	8 cm	排水層厚	8 cm	排水層厚	7 cm	パネル	3 cm
	荷重	258 kg/m <sup>2</sup>	荷重	438 kg/m <sup>2</sup>	荷重	147 kg/m <sup>2</sup>	荷重	74 kg/m <sup>2</sup>
低木	土壌厚	40 cm	土壌厚	40 cm	土壌厚	20 cm	土壌厚	15 cm
	排水層厚	10 cm	排水層厚	10 cm	排水層厚	10 cm	パネル	3 cm
	荷重	700 kg/m <sup>2</sup>	荷重	580 kg/m <sup>2</sup>	荷重	200 kg/m <sup>2</sup>	荷重	123 kg/m <sup>2</sup>
中木 (2 m)	土壌厚	50 cm	土壌厚	50 cm	土壌厚	30 cm	土壌厚	25 cm
	排水層厚	15 cm	排水層厚	12 cm	排水層厚	12 cm	パネル	30 cm
	荷重	890 kg/m <sup>2</sup>	荷重	722 kg/m <sup>2</sup>	荷重	282 kg/m <sup>2</sup>	荷重	193 kg/m <sup>2</sup>

#### 土壌・排水層の工法別荷重例

緑化をする基盤（土壌・排水層）は下表のとおり大きく 4 パターンに分かれます。建物の荷重条件を考慮して、基盤を選びましょう。（下表の各標準断面図は、①屋上面に②防水処理を施し、③防水層保護をした上に各工法により排水層と土壌をのせています）

※自然土壌の比重：1.6、改良土壌の比重：1.3、人工軽量土壌の比重：0.7、含水時の排水層（黒耀石パーライト）の比重：0.6、含水時の排水パネルの重さ：18 kg/m<sup>2</sup>として計算。薄型人工軽量土壌工法の場合は排水設備を設置し、薄型に栽培された樹木を使用する。






屋上緑化のような人工地盤での緑化には、地中からの水分補給や地中への水の浸透ができないため、あらかじめ土壌に保水性をもたせた人工軽量土壌と、一定の保水力を持つパネルを用いた排水層を組み合わせた人工軽量土壌工法を用いるのが一般的です

## (4) 防水工事

屋上緑化をした場合、植物に必要な雨水以外は速やかに排水させないと、雨水が建物内へ浸入してしまいます。緑化すると、しない場所に比べて雨水が緩やかに流出する効果があるので、雨水が建物内に侵入しないような防水構造にしなければなりません。

一般的には、水が浸入しない材料を使って屋上面を覆う防水工法が主流となっています。耐久性、安全性を重視するならアスファルト防水、軽量で安く、簡単に改修可能ならゴムシート防水、改修が可能なベランダ、バルコニーなどは仕上がりが綺麗なウレタン防水や塩ビシート防水、小面積な住宅などにはFRP防水と、面積や場所によって使い分けるといいでしょう。また、上記の工法以外にも各メーカーが様々な工法を開発しているので、専門家に直接現地を見てもらい最適な工法を紹介してもらおうのもいいかもしれません。植物の根が建物等に侵入することを防ぐ耐根シートを兼ねた防水シートもありますので、現地に合った防水シートを用いてください。

主な防水工法とその特徴

工法	耐用年数	耐荷重	水密性	耐根性	特徴
アスファルト防水 	20~60年	◎	◎	×	耐用年数が長く、一番信頼性が高い。保護コンクリートを使用するのが一般的。耐根性に乏しいので別途耐根層が必要。
ゴムシート防水 	10~15年	×	△	×	軽量で柔軟性がある。歩行用ではないが、露出防水として使われる。
ウレタン塗膜防水 	10~13年	△	○	×	施工時に液状なため、複雑な形状でも施行しやすい。湿潤状態が続くと防水層破断の危険性がある。
塩ビシート防水 	10~20年	△	○	○	摩擦に強いので、露出防水としてシートの上を直接歩行できるようにする使い方もある。
FRP防水 	10~15年	△	○	○	1~2時間で硬化するため施行時間が短くて済み、仕上がりも綺麗だが、建物の動きに弱い。



## (5) 屋上緑化の工法

下表は主な緑化工法と概算ですが、各緑化資材メーカーが様々な工法を開発しており、施工方法や仕上がり、費用も多岐にわたっています。荷重条件や環境条件、その後の維持管理のことを考慮して、専門家のアドバイスを受けながら納得のいく工法を選びましょう。

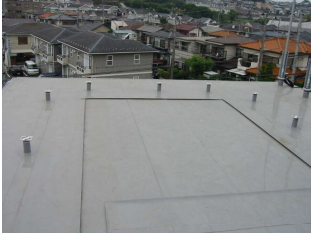
主な緑化工法

セダム・芝など草本類による緑化 (平面的緑化)	概算工事費 (植栽含む: m <sup>2</sup> )	¥20,000~¥30,000	
	条件	仮設・荷揚費・安全費等含まず 無灌水式	
	水道使用料	¥0	
	電気使用量	¥0	
草本類に木本類を加えた緑化 (立体的緑化)	概算工事費 (植栽含む: m <sup>2</sup> )	¥30,000~	
	条件	仮設・荷揚費・安全費等含まず 灌水式	
	水道使用料	¥84	
	電気使用量	100kwh	
水辺環境・トピアの緑化 (配置)	概算工事費 (植栽含む: m <sup>2</sup> )	¥40,000~	
	条件	仮設・荷揚費・安全費等含まず 池等による水循環装置(揚水ポンプ)を設置	
	水道使用料	¥210	
	電気使用量	定格電力300W以上	
	植栽管理費	¥2,000~¥4,500	

## (6) 屋上緑化の施工例 (個人住宅)



① 施工前



② タイルを敷きます。



③ 土留め(縁石)を並べます。



④ 土留め(縁石)を並べます。



⑤ 排水管を設置します。



⑥ 耐根シートを敷きます。



⑦ 保水シート・止水シートを敷きます。



⑧ 灌水パイプを設置します



⑨ 灌水システムを設置します



⑩ 土壌を盛り、芝張り・植栽をして完成!





### 3 壁面緑化

#### (1) 壁面環境特性

壁面の環境特性について、特に考慮すべきは風と温度、日照です。

##### 風について

壁面の風環境は複雑です。建物の上から、下から、そして渦を巻くような風が吹き、上部ほど強くなるため、風によって植物が芽づる式にはがれる危険性があります。また、風が吹くことによって乾燥しやすい状況にあります。

##### 温度について

地下へ温度が伝わらない壁面の温度は、地上に比べて熱しやすく冷めやすい状態にあります。特に夏季、直射日光がよくあたる壁面の温度は 50℃ 近くになる場合があります。逆に冬季、北側で他の建物などの陰となる場所などは低温により障害が出る場合があるので注意が必要です。

##### 日照について

壁面では、南面・北面の違いや周辺の建物の状況、壁面の色などの違いにより日照条件が大きく変わります。



#### (2) 壁面緑化する上での注意事項

##### 植栽環境条件の把握

気象条件や日照条件、潮風や排気ガスの影響などを考慮して植物を選びましょう。

風の影響の強い場所では、補助資材の取り付け方法や強度に注意しましょう。

雨水の利用は可能か、土壌の保水性や排水性は良いか、灌水設備が必要であるかなどを調査してから計画を立てましょう。

##### 建築物の環境条件の把握

積載荷重条件や支持強度などを調査し、植栽基盤や補助資材を計画しましょう。

周囲の家屋等の位置や利用状況を調査し、日照障害の防止やプライバシーの保護を図りましょう。

##### 壁面緑化の計画にあたって

壁面緑化の多くは植栽後の維持管理が容易に行えないので、植栽基盤の十分な整備を行います。

※ツル植物で緑化する場合、完成にはある程度時間を要することを認識しておきましょう。

□□



### (3) 壁面緑化の植栽基盤

壁面緑化の植栽基盤は、下表の 6 種類があります。設置場所や周辺の状況に応じて適する基盤を選びましょう。

自然地盤タイプ	多くは建造物の基盤となっているため、締め固まっていないか、コンクリート片が混ざっていないか、排水性はあるか確認する。
人工地盤タイプ	荷重条件、防水層の保護、雨水排水、排水勾配、灌水方法などに注意する。
プランタータイプ	根詰まりや保水性、軽量化などの点から、改良土壌や人工軽量土壌の使用が望ましい。
パネルタイプ	客土が流出しないよう構造や土壌に注意する。取り付け方法、着脱方法、荷重、排水。灌水方法をよく検討する。
緑化ブロックタイプ	乾燥しやすいため、土壌改良材を混入して保水性を高める。
壁面付着タイプ	客土が流出しないよう構造や土壌に注意する。北側で湿り気がある場所では、藻類やコケなどを付着させることもある。

### (4) 壁面緑化の工法

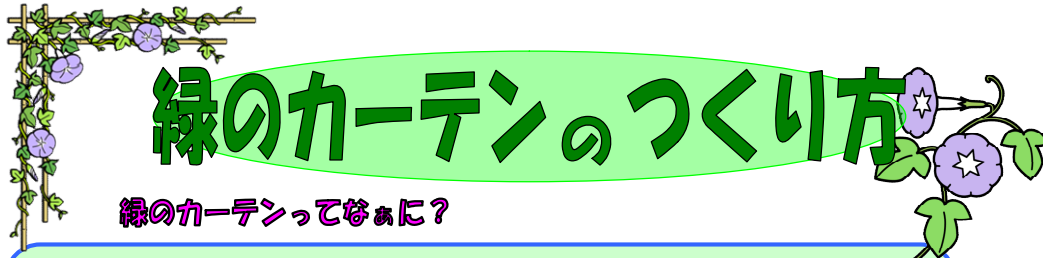
緑化方式 模式図					
概要	登はんタイプ 登はんマット＋ 金網設置	登はんタイプ 金網設置のみ	ユニットタイプ	下垂タイプ プランター要	エスパリエ手法
工事費 (㎡)	¥3～4万円	¥3～4万円	¥13～20万円	¥6万円/m	¥1万円/m
条件等	地べた植栽 植栽（ヘデラ 等）費込み 直工（¥2～2.5 万円 地べた植栽のため 灌水なし	地べた植栽 植栽（ヘデラ 等）費込み 直工（¥2～2.5 万円	植栽・灌水装置 込み 直工（¥8～10 万円 ＊灌水システム 40万円/1シス テム	プランター ¥2.5万円/m 植栽¥300/株 *10 施工費¥1.7万 円/日*0.5	植栽1万円/m
維持管理 費 (㎡)	¥300～1,600円/年	¥300～1,600円/年	¥2,000～4,500円/年	¥300～1,600円/年	¥300～1,600円/年
維持管理	施設内清掃（4 回/年） 除草（2回/年） 施肥（1～2回/ 年） 病害虫防除（適 宜） 刈り込み（1～ 2回/年）	施設内清掃（4 回/年） 除草（2回/年） 施肥（1～2回/ 年） 病害虫防除（適 宜） 刈り込み（1～ 2回/年）	施設内清掃（4 回/年） 灌水装置点検 （4回/年） 除草（2回/年） 施肥（1～2回/ 年） 病害虫防除（適 宜）	施設内清掃（4 回/年） 除草（2回/年） 施肥（1～2回/ 年） 灌水（真夏等） 病害虫防除（適 宜） 刈り込み（1～ 2回/年）	除草（2回/年） 施肥（1～2回/ 年） 病害虫防除（適 宜） 樹木剪定（1～ 2回/年）

## 4 緑のカーテン

### (1) 緑のカーテンとは

ゴーヤやアサガオなどの一年草のツル性植物で建物の窓を覆うものです。暑い夏は、葉が窓を覆い、夏の日差しをさえぎり、葉からでる水蒸気により周りの温度を下げ室内を涼しく感じさせます。また、冬には葉を落とし日差しを部屋に取り込むことができる省エネルギーやヒートアイランド対策の手法の一つです。

### (2) 緑のカーテンのつくり方



#### 緑のカーテンってなに？

ゴーヤやアサガオなどのつる性植物(一年草)で建物の窓をおおうものです。暑い夏は葉っぱで窓をおおいますが、寒い冬には葉っぱを落とし、暖かい日差しを部屋のなかに取り込むことができます。夏の日差しをさえぎるとともに、葉っぱからでる水蒸気により、周りの温度を下げ、室内を涼しくしてくれます。エアコン使用によるエネルギー消費を抑えられるなど、ヒートアイランド対策にも効果的で、全国各地で取り組みが進められています！！

#### 「緑のカーテン」オススメ植物

##### ゴーヤ(ウリ科)



熱帯アジア原産で、一年生のつる植物です。

黄色い花が咲き、果実は沖縄料理で有名なゴーヤチャンプルーの材料に使うことができます。緑のカーテンに使う代表種で、暖かい地域が原産なので、盛夏になると、とても早く成長します。

また、病害虫にとっても強く、育てやすい植物です。

##### アサガオ(ヒルガオ科)



一年生のつる植物です。品種改良種も多く、様々な色や大きさの花のタイプがありますので、お気に入りの品種を探してみましょう。

また、小学校の観察教材に多く使われるなど、育てやすくなじみ深い植物でもあります。

##### ヘチマ(ウリ科)



一年生のつる植物です。黄色い花が咲き、果実は汁物や煮物などの料理に使ったり、乾燥させてタワシにすることもできます。

また、収穫後に地上部を刈り取る際には、化粧水などに利用できるヘチマ水を取ることもできます。

##### ヒョウタン(ウリ科)

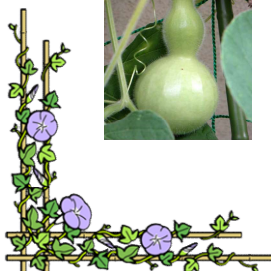


一年生のつる植物です。ウリ科では珍しく白い花を咲かせます。

果実は水入れや容器など様々な用途に使用することができます。

実を大きく成長させたり、ひび割れを防ぐために十分な水やりを行いましょう。

写真撮影：青木繁伸(群馬県前橋市)







## 用意するもの

使う材料はプランターや支柱、ネットなど、ホームセンター等で購入できるものなので、手軽に始めることができます♪「緑のカーテン」コーナーが設けられているお店もあります！

### ①種や苗

市販される苗は時期が限られるため、苗を購入する際は十分注意をしましょう。ゴールデンウィーク前後が狙い目です(ゴーヤ苗は特に人気商品です)。

### ②土・肥料

**土選びは非常に重要です！**プランターという限られた空間で植物が生育するので、良質な土を選びましょう。色々な種類の土がブレンドされている野菜用の「培養土」が手軽でオススメです(ゴーヤは酸性の土を嫌います)！培養土に肥料が入っているものもありますが、野菜用の化成肥料を定期的に与えると大きく健康な苗に育ちます。

### ③鉢底石

水はけを良くするために、必ずプランターの底に入れておきましょう。

### ④プランター

植物の生育基盤となるため、なるべく多くの土が入る大型のものが良いでしょう。しかし、ベランダなどスペースが限られている場合も多いので、設置するスペースを考慮しつつ適当なプランターを選びましょう。また、ゴーヤなどの野菜は深型タイプのものが適しています！

### ⑤ネット

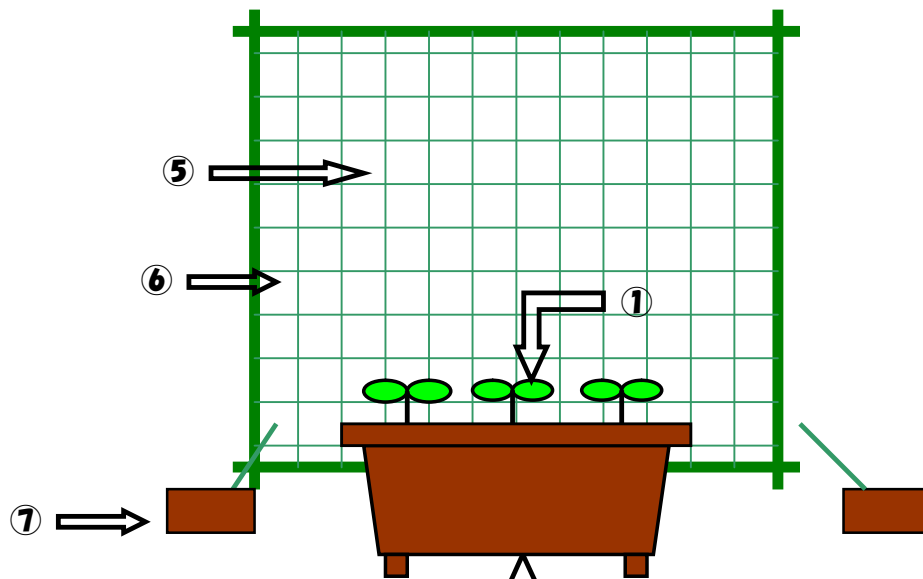
様々な規格・色の商品がありますが、網目が10cm程度のネットが使いやすいでしょう。1m単位での計り売りや既製品などがありますが、設置できる広さも様々なので、設置スペースにあった大きさのネットを選びましょう。

### ⑥支柱

園芸用の支柱(2m程のもの)が値段も安く適しています。

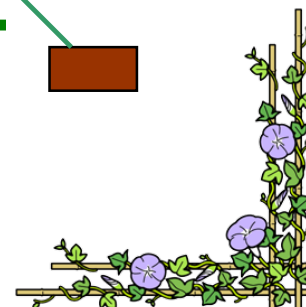
### ⑦重し

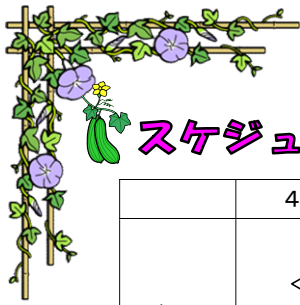
風の強いベランダなどはレンガやブロックなどの重しでネットが飛ばないようにしましょう！



緑のカーテン参考図

②・③・④





## スケジュール

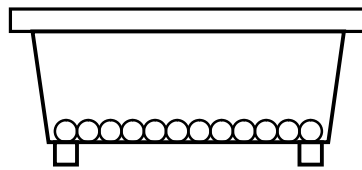
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ゴーヤ	種まき	植えつけ	ネット設置		収穫		ネット撤去
アサガオ	種まき	植えつけ	ネット設置	開花			ネット撤去

※スケジュールはあくまで目安ですので、「気温」や、「種まき・植えつけ時期」等により「開花時期」や「収穫時期」も前後します。



## つくり方

- ①プランターのなかに鉢底石を薄く敷き均し、土をいれます。土はプランターの上端から2～3cm下がった位置まで入れましょう(水やりの際のウォータースペースをつくれます)。



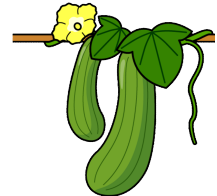
←ここまで土を入れましょう♪

- ②種をまく場合は、前日から一晩水につけておきましょう! 発芽率がとても高くなります(一晩経過しても水に浮いている種は発芽しません)。また、発芽後の勢いも向上します。ゴーヤの種は、種の先端の尖った部分を爪切りなどでカットしてから、種一つ分ほどの土がかぶるようにしてまいてあげましょう(カットしなくても発芽します)。種まきから約2ヶ月～2ヶ月半ほどで、葉がカーテン状になります。

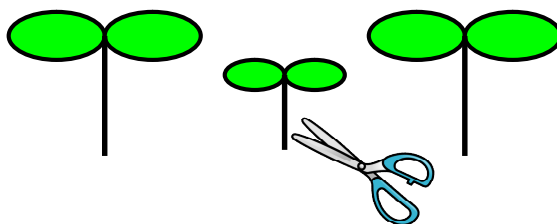
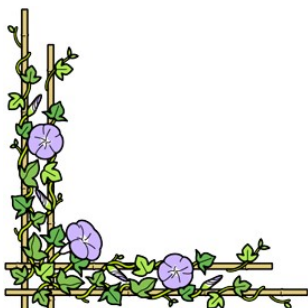
ゴーヤの種→



←カット



- ③一週間ほどで芽がでてきます。種をたくさんまいた場合は、芽も多く出てきますので、少し成長するのを待って「間引き」をしましょう。間引きとは、弱い芽を選んでつみ取ることで、間引きをしないと栄養分などが分散してしまい、大きく丈夫な苗に育ちません。

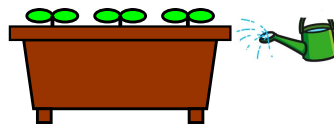






④苗を購入して植える場合は、健康的な苗を選びましょう。選び方のポイントとしては、葉がキレイな緑色をしていること(茶色や黄色の葉がない)、ポットの土が適度に湿っていること(水切れを起こしていないか)、根がよく伸びていることなどです。

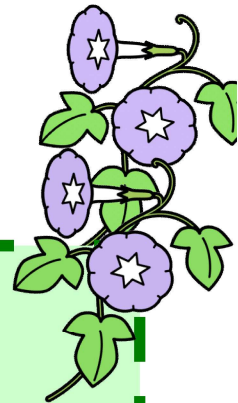
⑤表面の土が乾いてきたら、プランターの底から水がでるまで、たっぷり水をあげましょう。**水切れは絶対に禁物です!!**ゴーヤなどは水を好みますので、夏場は特に土の乾き具合をよく確認しましょう。



⑥植物がある程度大きくなってきたら、ネットの設置をするとともに、定期的(月1回程度)に追肥を行ってください。

⑦ネットを設置した後は、園芸用テープなどで止め、つるがネット全体に広がるように誘引してあげましょう(植物とネットを結束する際は、あまり強く止めないようにしましょう)。

⑧つるがネット全体に広がるころには、アサガオは花が、ゴーヤは実が楽しめます。ゴーヤの実をあまり大きくしようとすると、黄色くなってしまい観賞価値や栄養価が下がりますので、タイミングを見計らって収穫しましょう。



緑のカーテンを設置する際には、

1. 種は一晩水につけましょう!

2. 植物には水をたっぷりあげましょう!

3. 風でネットが飛ばされないように必ず固定しましょう!

4. ベランダなどでは、絶対に避難経路をふさがないようにしましょう!!



## 5 藤沢市建物緑化の助成制度

### (1) 制度概要

2011年4月1日

#### 目的

藤沢市における緑豊かな都市景観の創出と、良好な生活環境の保全やヒートアイランド現象の緩和を目的として、市内の建物緑化を推進するため、屋上・壁面緑化事業や緑のカーテン（一年草による壁面緑化）の工事費を助成するものです。

#### (1) 助成項目

屋上緑化(バルコニー含む)と壁面緑化(多年草のツル植物)、緑のカーテン(一年草のツル植物)の施設の設置。

#### (2) 助成対象建築物

- ① 市内の建築物(建築予定および建築中を含む)で、建築基準法等の法令に適合するもの。
- ② 個人居住用、事業用等を問わず助成の対象とします。

#### (3) 助成対象にならないもの

- ① 国、地方公共団体その他これに準ずる団体
- ② 「藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」の緑化基準内で緑化を行うもの。ただし、藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例(平成21年藤沢市条例第6号)第26条及び第29条に規定する場合を除く。
- ③ 分譲又は売買等を目的とするもの
- ④ 住宅展示場等もっぱら居住もしくは事務所、営業所等で使用する場合でなく、営業を目的とするもの。
- ⑤ 補助金交付の申請時に市税等を滞納している申請者が所有する建築物(市長が特別な事情があると認める場合を除く。)
- ⑥ 屋上・壁面緑化の移動可能なプランターによる緑化施設。(緑のカーテンは除く。)
- ⑦ 本助成の目的に適していない場合

#### (4) 対象地域

全市域

#### (5) 対象面積

助成の対象となる面積は、法令、神奈川県条例又は本市の条例等により緑化すべきものとされる面積を超える部分とする。ただし、藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例(平成21年藤沢市条例第6号)第26条及び第29条に規定する場合を除く。

- ① 屋上緑化(バルコニーは含み、ベランダは含まない。)  
個人居住用は面積3㎡以上、事業用等は面積10㎡以上とします。
- ② 建築物の壁面緑化(ベランダは含まない。)  
個人居住用は緑化幅3m以上かつ緑化面積5㎡以上、事業用等は緑化幅5m以上かつ緑化面積10㎡以上とします。

③ 緑のカーテン

個人居住用、事業用等を問わず、壁面幅1.8m以上かつ高さ1.8m以上とします。

(6) 対象工事

① 屋上、バルコニー緑化（屋根や庇の部分は除く）

かんすい

→ 植栽基盤設備および灌水（散水）施設の工事。

土壌および樹木等の購入、植栽経費。（建物が新築の場合、原則として樹木による植栽とし、また、緑化面積の5分の3までは芝生など草類を使用できる。ただし、既存建物の場合、建物の耐荷重考慮による植栽とする）

② 壁面緑化

かんすい

→ ワイヤー、ネットなどの誘引資材および灌水（散水）施設の工事。  
ツル植物(多年草に限る)の購入および植栽経費。

③ 緑のカーテン

→ プランター、用土、野菜及び草花の苗又は種子(一年草に限る)、ネット、園芸用支柱、ネット固定用資材、植栽経費。

(7) 対象工事期間

助成金交付決定日の当該年度中に工事の完了が可能なもの。

(8) 助成金額

- ① 対象工事費の2分の1とし、助成限度額は個人居住用の場合は、屋上緑化20万円、壁面緑化10万円、事業用等の場合は、屋上緑化100万円、壁面緑化50万円、緑のカーテンは10万円とします。
- ② 屋上・壁面緑化は、完成後5年以上継続して維持管理すること。
- ③ 1000円未満は切り捨てとなります。

(9) 緑化の指針

① 屋上（バルコニー含む）

樹木 低木(高さ1.0m未満) 2.5本/㎡以上

例：ツツジ類・アセビ・シャリンバイ等

中木(高さ1.0m以上3.0m未満) 0.5本/㎡以上

例：ソヨゴ・ハナズオウ・ウバメガシ等

草類 芝 張り芝(目地幅4cm以内)

例：コウライシバ・ノシバ等

地被類① 44株/㎡以上

例：タマリユウ・ヘデラ類等

地被類② 32株/㎡以上

例：フィリヤブラン・マツバギク等

\* 収穫を目的とするものは含まない。

② 壁面

ツル植物(多年草に限る) 3株/m以上

例：ヘデラ・スイカズラ等

③ 緑のカーテン

ツル植物（一年草に限る） 3株/m以上

例：ゴーヤ・セイヨウアサガオ・ヘチマ・キュウリ等

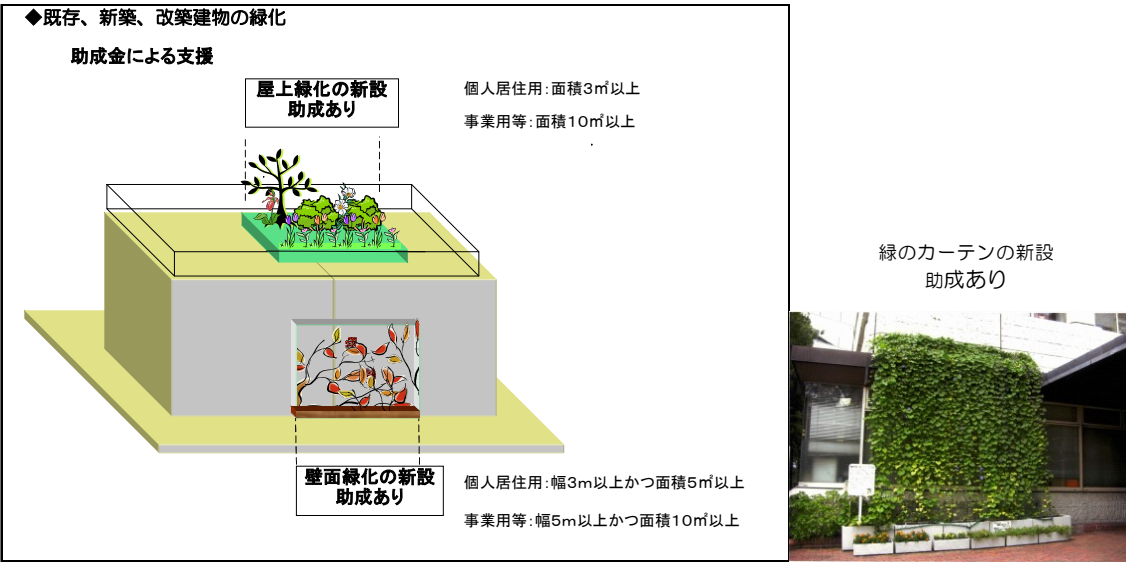
助成内容の一覧表

種別	屋上緑化 (バルコニー含む)		壁面緑化		緑のカーテン
	個人居住用	事業用等	個人居住用	事業用等	
対象工種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植栽基盤の整備に要した経費（耐根シート、灌水、排水、客土等）</li> <li>・ 植栽経費</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植栽基盤の整備に要した経費（植栽枘、植栽帯、客土等）</li> <li>・ 植栽の誘引資材（トレリス、ワイヤー、固定具等）</li> <li>・ 植栽経費</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プランター</li> <li>・ 用土・野菜及び草花の苗又は種子</li> <li>・ 市販ネット</li> <li>・ 園芸用支柱</li> <li>・ ネット固定用資材</li> <li>・ 植栽経費</li> </ul>
助成対象面積	3㎡以上	10㎡以上	壁面幅3m以上 かつ緑化面積 5㎡以上	壁面幅5m以上 かつ緑化面積 10㎡以上	壁面幅1.8m以上かつ高さ 1.8m以上
基準単位	屋上緑化部分の面積(㎡)	同左	壁面緑化部分の面積(㎡) ※1	同左	カーテン緑化部分幅及び高さ
助成金額	工事費の1/2に相当する金額	同左	工事費の1/2に相当する金額	同左	工事費の1/2に相当する金額
助成限度額	200,000円	1,000,000円	100,000円	500,000円	100,000円
その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多年草による壁面緑化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一年草による壁面緑化（例ゴーヤ、ヘチマ、キュウリ、セイヨウアサガオ等）</li> </ul>

※1

- ① ツル性植物を誘引する補助器具等を使用した場合は、補助器具等の面積
- ② 補助器具などを使用しない場合は、植栽基盤の延長にツル性植物などの植え付け時の高さ（1m未満の場合は1m）を乗じた面積
- ③ 円柱形状樹を建築物の壁面に沿って植栽した場合は、樹木1本当たりの葉張り（樹木の壁面に平行で水平な最大幅をいう。）を1mとみなして、樹高を乗じた面積

# 建物緑化の助成模式図

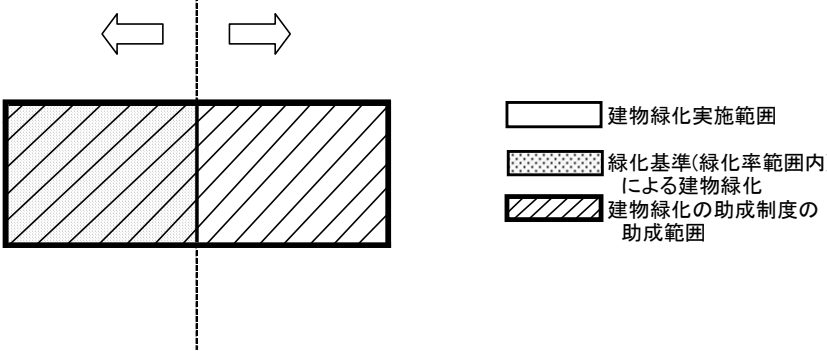


※緑のカーテンは緑化基準対象外。 幅 1.8m 以上かつ高さ 1.8m 以上

# 助成の範囲

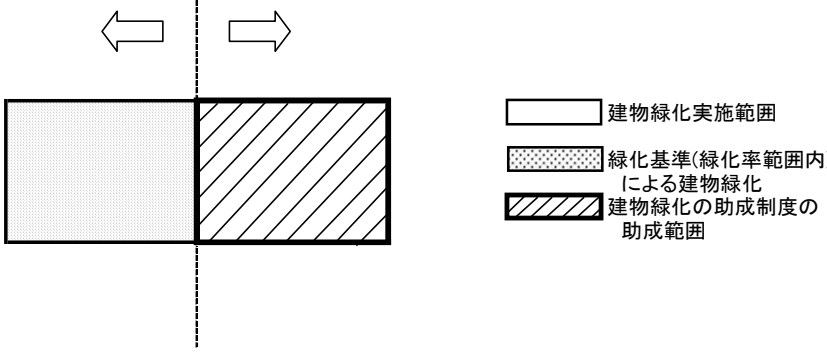
## 建物緑化義務化地域(商業地域・近隣商業地域)

緑化基準(緑化率範囲内)による建物緑化 (助成金による支援)      緑化基準(緑化率範囲内)以上の建物緑化 (助成金による支援)



## 建物緑化義務化地域以外の地域

緑化基準(緑化率範囲内)による建物緑化 (助成なし)      緑化基準(緑化率範囲内)以上の建物緑化 (助成金による支援)





## (2) 藤沢市建物緑化助成金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、藤沢市補助金交付規則（昭和35年藤沢市規則第11号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、建築物の屋上、壁面、バルコニー又はベランダの全部又は一部に緑化区画を設け、樹木、草花等を植栽し緑化する事業に対し、助成金を交付することについて必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要綱において、建物緑化とは、建築物上を緑化することをいい、次の各号に掲げる緑化によって行う。

- (1) 屋上緑化とは、日常的に維持管理することのできる建築物の屋上（屋根や庇のないバルコニー等を含む）等を樹木、芝、多年草等で緑化することをいう。
- (2) 壁面緑化とは、建築物の外壁部分に支持補助資材等を利用して多年生ツル植物等で緑化することをいう。
- (3) 緑のカーテンとは、建築物の外壁部分にネット等を利用して一年生ツル植物で緑化することをいう。

(助成の対象となる建築物)

第3条 この要綱に基づく助成は、藤沢市内の建築物（建築基準法（昭和25年法律第201号）第2条第1号に規定する建築物。建築中及び建築予定のものを含む。）において実施される建物緑化事業に対して行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する建築物等に対して行う建物緑化事業は、助成の対象としない。

- (1) 建築基準法等の法令に違反する建築物
- (2) 国又は地方公共団体等の建築物
- (3) 国又は地方公共団体等から、類似している補助金又は助成金を受けている建築物
- (4) 分譲又は売買等を目的とした建築物
- (5) 住宅展示場等もっぱら居住若しくは事務所、営業所等で使用する建築物でなく営業を目的とした建築物
- (6) 助成金交付の申請時に市税等を滞納している申請者が所有する建築物（市長が特別な事情があると認める場合を除く。）

(助成の対象となる工種、面積及び金額等)

第4条 助成の対象となる工種、面積及び助成金額等は、別表のとおりとする。この場合において助成の対象となる面積は、法令、神奈川県条例又はこの市の条例等により緑化すべきものとされる面積を超える部分とする。ただし、藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例（平成21年藤沢市条例第6号）第26条及び第29条に規定する場合を除く。

2 前項の規定にかかわらず、屋上緑化及び壁面緑化の方式が、プランターの設置等容易に除去又は移動が可能なものである場合は、助成の対象としない。

3 助成の対象となる工事は、助成金交付決定後、当該年度内に工事の完了が可能なものとする。

(緑化方法)

第5条 植栽本数は、1平方メートルにつき、次に掲げる内容を原則とする。ただし、第1号から第3号については、収穫を目的とするものは含まない。

- (1) 屋上緑化（バルコニーの緑化を含みベランダの緑化を含まない。以下同じ。）を樹木で行う場合 高さ1メートル以上3メートル未満の樹木0.5本以上及び1メートル未満の樹木2.5本以上

- (2) 屋上緑化を草類で行う場合 張り芝（目地幅4cm以内）、地被類44株以上又は芝・地被類以外32株以上
- (3) 壁面緑化（ベランダの緑化を含まない）の場合 ツル性植物（多年草に限る）3株以上
- (4) 緑のカーテンの場合 ツル性植物（一年草）3株以上

（助成金の申請）

第6条 規則第3条の規定による申請は、建物緑化助成金交付申請書（様式第1号）、建物緑化計画説明書（別記様式）により、行うものとする。

- 2 前項の建物緑化計画説明書には、次に掲げる書類を添付しなければならない。
  - (1) 案内図、位置図
  - (2) 助成対象事業着手前の写真
  - (3) 緑化計画平面図・断面図
  - (4) 緑化工事見積書及び内訳明細書の写
  - (5) 建物の所有者がわかる書類
  - (6) 緑化面積求積図
  - (7) その他必要書類（手続代行者選任届（様式第5号）等）
- 3 申請者は、助成金の交付の申請をするに当たっては、当該助成金に係る消費税等仕入控除税額（補助対象経費に含まれる消費税及び地方消費税相当額のうち、消費税法（昭和63年法律第108号）の規定により仕入れにかかる消費税額として控除できる部分の金額及び当該金額に地方税法（昭和25年法律第226号）の規定による地方消費税の税率を乗じて得た金額の合計額に補助率を乗じて得た金額をいう。以下同じ。）を減額して申請する。ただし、申請時において当該消費税等仕入控除税額が明らかでないものについては、この限りでない。
- 4 申請者は、事業完了後に、消費税及び地方消費税の申告により助成金に係る消費税等仕入控除税額が確定した場合には、消費税額及び地方消費税額の確定に伴う報告書（様式8号）を速やかに提出しなければならない。
- 5 第1項、第2項及び第4項の書類等の提出部数は、正本及び副本各1通とする。

（完了届及び事業実績報告書）

第7条 規則第5条に規定する事業完了届は、次に掲げる書類を添付し、完成の日から30日以内に提出するものとする。

- (1) 建物緑化助成金交付事業完了報告書・完了検査願（様式第3号）
  - (2) 案内図、位置図
  - (3) 助成対象事業完了後の写真
  - (4) 緑化完成平面図（竣工図）・断面図
  - (5) 緑化工事に係る収支精算書、内訳明細書及び領収書の写
  - (6) その他必要書類
- 2 第1項の事業完了届及び書類の提出部数は、正本及び副本各1通とする。
  - 3 規則第8条に規定する事業実績報告書は、第1項の事業完了届に兼ねるものとする。

（助成金の額の確定）

第8条 前条の規定による届出があったときは、建物緑化助成金交付事業完了報告書・完了検査願（様式第3号）に基づき検査（屋上緑化及び壁面緑化については、現地検査を含む。）を実施し、事業が完了したと認めるときは、交付すべき助成金の額を確定し、藤沢市建物緑化助成金交付確定通知書（様式第4号）により通知するものとする。

- 2 前項の規定による助成金の額に1,000円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

（助成金の請求）

第9条 前条の規定による通知を受けた者は、請求書（様式第7号）を市長に提出しなければならない。

(助成金の返還)

第10条 規則第10条に規定する助成金の返還を実施するときは、藤沢市建物緑化助成金返還命令書(様式第6号)により通知するものとする。

2 第6条第4項に規定する消費税額及び地方消費税額の確定に伴う報告書の提出があった場合には、当該消費税等仕入控除税額の全部又は一部の返還を請求するものとする。

(緑化施設の維持)

第11条 助成金の交付を受けた者は、事業完了後も、5年以上適切な維持管理を行わなければならない。

(補則)

第12条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が定める。

## 附 則

(施行期日)

1 この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

別表(第4条関係) 助成の対象工種及び面積、助成金額

種別	屋上緑化 (バルコニー含む)		壁面緑化		緑のカーテン
	個人居住用	事業用等	個人居住用	事業用等	
対象工種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽基盤の整備に要した経費(耐根シート、灌水、排水、客土等)</li> <li>・植栽経費</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽基盤の整備に要した経費(植栽柵、植栽帯、客土等)</li> <li>・植栽の誘引資材(トレリス、ワイヤー、固定金具等)</li> <li>・植栽経費</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランター</li> <li>・用土・野菜及び草花の苗又は種子</li> <li>・市販ネット</li> <li>・園芸用支柱</li> <li>・ネット固定用資材</li> <li>・植栽経費</li> </ul>
助成対象面積	3㎡以上	10㎡以上	壁面幅3m以上かつ緑化面積5㎡以上	壁面幅5m以上かつ緑化面積10㎡以上	壁面幅1.8m以上かつ高さ1.8m以上
基準単位	屋上緑化部分の面積(㎡)	同左	壁面緑化部分の面積(㎡) ※1	同左	カーテン緑化部分幅及び高さ
助成金額	工事費の1/2に相当する金額	同左	工事費の1/2に相当する金額	同左	工事費の1/2に相当する金額
助成限度額	200,000円	1,000,000円	100,000円	500,000円	100,000円
その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>・多年草による壁面緑化</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年草による壁面緑化(例 ゴーヤ、ヘチマ、キュウリ、セイヨウアサガオ等)</li> </ul>

※1

① ツル性植物を誘引する補助器具等を使用した場合は、補助器具等の面積

② 補助器具などを使用しない場合は、植栽基盤の延長にツル性植物などの植え付け時の高さ(1m未満の場合は1m)を乗じた面積

③ 円柱形状樹を建築物の壁面に沿って植栽した場合は、樹木1本当たりの葉張り(樹木の壁面に平行で水平な最大幅をいう。)を1mとみなして、樹高を乗じた面積

別記様式（第6条関係）

建 物 緑 化 計 画 説 明 書

計 画 場 所	藤沢市		
工 事 予 定 期 間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日		
建 築 物 所 有 者 等	住 所		
	氏 名		ビル名
申 請 人 連 絡 先 電 話 番 号 等			
敷 地 面 積	<input type="checkbox"/> 500㎡未満	<input type="checkbox"/> 500㎡以上1,000㎡未満	<input type="checkbox"/> 1,000㎡以上

助 成 基 準 工 種	数 量	備 考
屋上緑化(バルコニーの緑化を含みベランダの緑化を含まない)	㎡	
壁面緑化(壁面被覆面積) (ベランダの緑化を含まない)	㎡	
緑のカーテン	㎡	
合 計	㎡	
屋上(壁面)緑化面積(A)		㎡
屋上(壁面)緑化可能面積(B)	㎡	緑化率(A/B)
		%

添付書類 案内図、位置図、助成対象事業着手前の写真、緑化計画平面図・断面図

緑化工事見積書及び内訳明細書の写

建物の所有者を証明する書類(1部は写で可)

緑化面積求積図

その他該当する場合: 手続代行者選任届(第5号様式)

緑化協定時は既存緑化図

提出部数 各2部

### (3) 建物緑化の義務化

#### 建物緑化の義務化及び助成の範囲

##### 建物緑化の義務化

※「藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」第26条・第29条参照

商業地域・近隣商業地域における建築物の新・増・改築に伴う緑化(基準)に建物緑化が義務化されます。  
※但し、工場立地法、風致地区条例該当物件を除く。



**義務化面積**: 必要緑地面積の20%(敷地面積の2%)もしくは10㎡のうち大きい数値以上(必要緑地面積の50%を限度とする)。  
※建物緑化義務化面積=敷地面積×緑化率10%×20%もしくは10㎡のうち大きい数値以上を適用する。



##### 建物緑化助成制度について

※「藤沢市建物緑化助成金交付要綱」参照

##### ①建物緑化の助成制度の助成範囲

建物緑化義務化地域(商業地域・近隣商業地域)と建物緑化義務化地域以外の地域とでは、建物緑化の助成制度の助成範囲が異なりますので確認をお願いいたします。(下図参照)

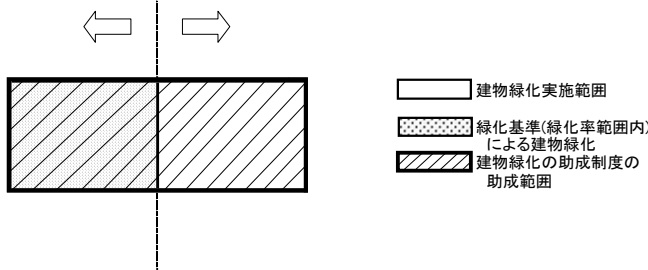
[ 建物緑化義務化地域(商業地域・近隣商業地域) ]  
緑化基準(緑化率範囲内)による建物緑化

[ 建物緑化義務化地域以外の地域 ]  
緑化基準(緑化率範囲内)以上の建物緑化

##### 建物緑化義務化地域(商業地域・近隣商業地域)

緑化基準(緑化率範囲内)による建物緑化  
(助成金による支援)

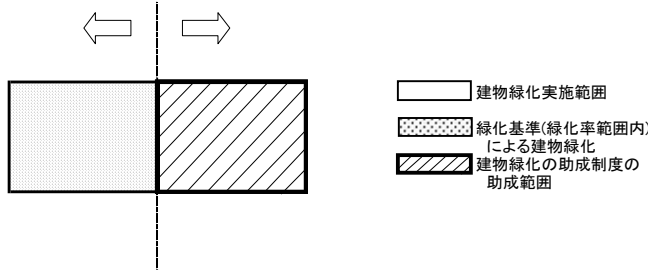
緑化基準(緑化率範囲内)以上の建物緑化  
(助成金による支援)



##### 建物緑化義務化地域以外の地域

緑化基準(緑化率範囲内)による建物緑化  
(助成なし)

緑化基準(緑化率範囲内)以上の建物緑化  
(助成金による支援)

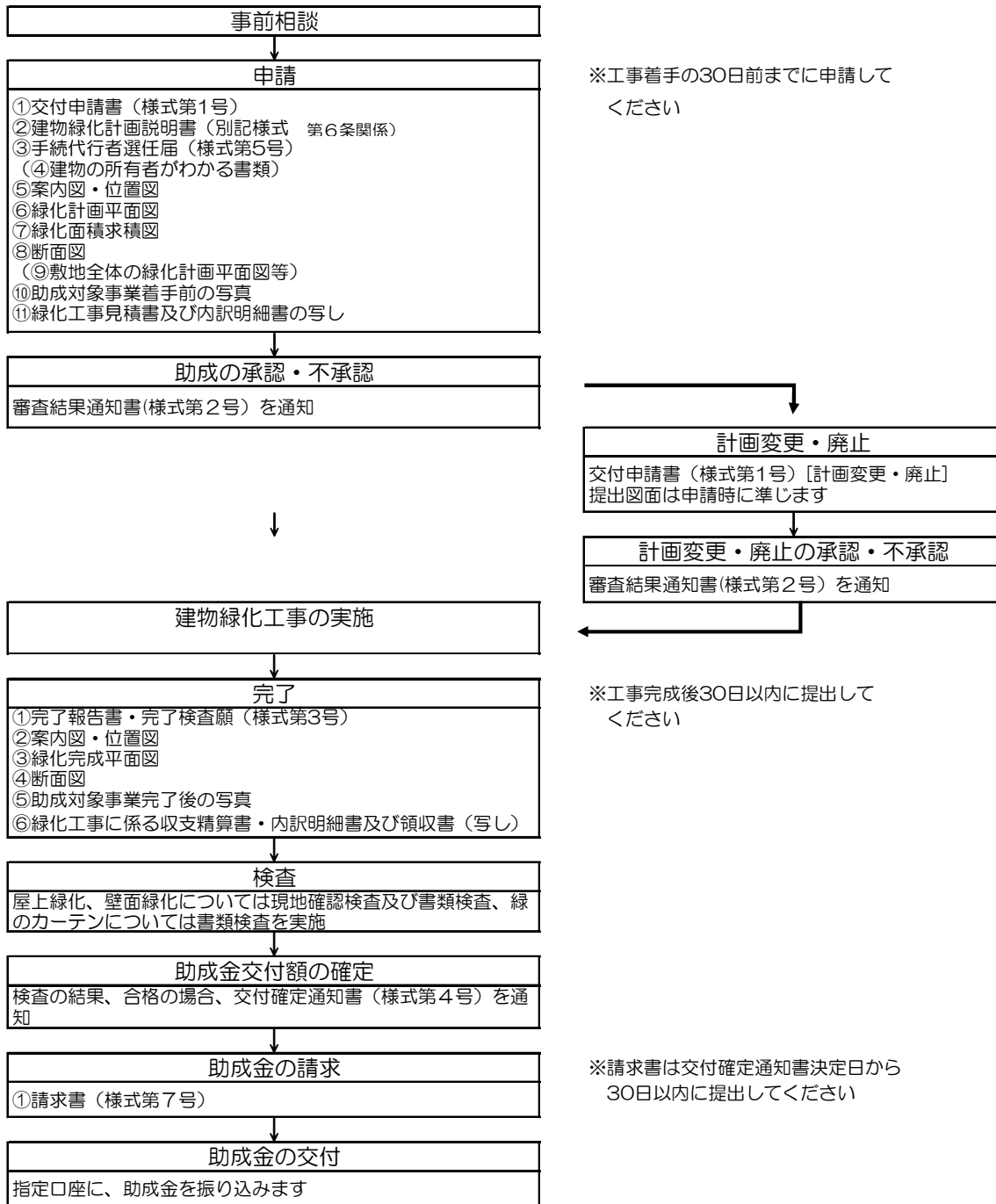


※「建物緑化の義務化」の対象となる建物緑化とは、緑のカーテン(一年草)を除く屋上緑化及び壁面緑化(多年草)のことをいう。



## (4) 建物緑化の助成フロー

### 藤沢市建物緑化助成フロー



※1 申請前に購入した資材については助成の対象となりませんので、資材の購入は必ず申請受付後、審査結果通知書の日付以降に行ってください。また、工事途中、工事後の申請は助成の対象となりません。

※2 交付額は千円単位とします。

※3 助成については、1申請者につき、屋上・壁面・緑のカーテン各1回限りとします。  
 (ただし、前回申請から5年以上経過したものはこの限りでない)

## (5) 建物緑化助成の必要書類

### 藤沢市建物緑化助成（申請時）に必要な提出書類

※書類提出の際に必要な印鑑については「統一」していただきますよう  
よろしく願いたします。

[申請時] 正本・副本2部提出(申請書の押印欄には2部とも押印してください)  
審査終了後、1部は申請者にお返しいたします。

	屋上緑化	建築物の壁面緑化	緑のカーテン
①交付申請書（様式第1号）	○	○	○
②建物緑化計画説明書（別記様式 第6条関係 ）	○	○	○
③手続代行者選任届（様式第5号） （手続きを代行する場合に必要）	○	○	○
④建物の所有者がわかる書類 建物所有者証明（既存建物の場合 写しで可） 工事請負契約書 （建築中で証明が無い場合 写しで可） 管理組合等承諾書 （マンションを個別に所有している場合 写しで可） 建物所有者の承諾書（賃貸住宅の場合 写しで可） 建築確認済証（写し）	必要に応じて		× ※1
⑤案内図・位置図	○	○	○
⑥緑化計画平面図 （壁面緑化及び緑のカーテンの場合は立面図も添付）	○	○	○ ※2
⑦緑化面積求積図	○	○	○ ※2
⑧断面図	○	○	○ ※2
⑨敷地全体の緑化計画平面図等 （緑化計画書の提出・緑化協定書の締結をしている場合）	○	○	× ※1
⑩助成対象事業着手前の写真	○	○	○
⑪緑化工事見積書及び内訳明細書の写し(注1)	○	○	○

※1) 「緑のカーテン」の助成に関しては、④「建物所有者証明」等・⑨「敷地全体の緑化計画平面図等」の添付は原則不要とします。

※2) 「緑のカーテン」の助成に関しては、⑥緑化計画平面図、立面図・⑦緑化面積求積図・⑧断面図は設置する内容が分かるものであれば 手書きでも結構です。

(注1) 緑化工事に係る収支精算書・内訳明細書及び領収書の一式計上は認められませんので、各項目で最小の単価内訳を求めてください。（下記・内訳明細書記載例参照）

#### 内訳明細書記載例（緑のカーテン）

名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	購入先
用土(元肥含む)	2.5リットル	3	袋	1,250	3,750	〇〇園芸店
鉢底石	2リットル	3	袋	300	900	〇〇園芸店
プランター	500*340*263	3	個	1,000	3,000	〇〇園芸店
ゴーヤの苗	10.5P	9	ポット	300	2,700	〇〇園芸店
市販ネット	1.8m×1.8m	1	個	700	700	〇〇園芸店
園芸用支柱	L=2.1m	6	本	300	1,800	〇〇園芸店
ネット固定用リカ	240*120*80	4	個	200	800	〇〇ホームセンター
合 計					13,650	

(注2) 審査結果通知書に記載される「助成限度額」及びその後交付される助成金は千円未満が切り捨てとなります。

(注3) 申請前に購入した資材については助成の対象となりませんので、資材の購入は必ず申請受付後、審査結果通知書の日付以降に行ってください。また、工事途中、工事後の申請は助成の対象となりません。

(注4) 助成については、1申請者につき、屋上・壁面・緑のカーテン各1回限りとします。  
（ただし、前回申請から5年以上経過したものはこの限りでない）

## 藤沢市建物緑化助成（完了時）に必要な提出書類

※書類提出の際に必要な印鑑については「統一」していただきますよう

よろしくお願いいたします。

[完了時] 正本・副本2部提出(申請書の押印欄には2部とも押印してください)  
完了確認後、1部は申請者にお返しいたします。

	屋上緑化	建築物の壁面緑化	緑のカーテン
①完了報告書・完了検査願（様式第3号）	○	○	○
②案内図・位置図	○	○	○
③緑化完成平面図 （壁面緑化及び緑のカーテンの場合は立面図も添付）	○	○	○※1
④断面図	○	○	○※1
⑤助成対象事業完了後の写真	○	○	○
⑥緑化工事に係る収支精算書・ 内訳明細書及び領収書（写し）（注1）	○	○	○
⑦請求書（様式第7号）※2	○	○	○

※1)「緑のカーテン」の助成に関しては、③緑化完成平面図、立面図・④断面図は設置した内容が分かるものであれば 手書きでも結構です。

※2)⑦請求書については藤沢市が通知した「藤沢市建物緑化助成金交付確定通知書」をもとに作成を行い、「1部」提出をお願いします。

(注1)緑化工事に係る収支精算書・内訳明細書及び領収書の一式計上は認められませんので、各項目で最小の単価内訳を求めてください。（下記・内訳明細書記載例参照）

### 内訳明細書記載例（緑のカーテン）

名称	形状・寸法	数量	単位	単価	金額	購入先
用土(元肥含む)	2.5リットル	3	袋	1,250	3,750	〇〇園芸店
鉢底石	2リットル	3	袋	300	900	〇〇園芸店
プランター	500*340*263	3	個	1,000	3,000	〇〇園芸店
ゴーヤの苗	10.5P	9	ポット	300	2,700	〇〇園芸店
市販ネット	1.8m×1.8m	1	個	700	700	〇〇園芸店
園芸用支柱	L=2.1m	6	本	300	1,800	〇〇園芸店
ネット固定用シガ	240*120*80	4	個	200	800	〇〇ホームセンター
合 計					13,650	

(注2)「藤沢市建物緑化助成金交付確定通知書」の「補助金交付確定額」及びその後交付される助成金は千円未満が切り捨てとなります。

## (6) よくある質問への回答

[共通]

- 交付申請書（様式第1号）、完了報告書・完了検査願（様式第3号）、手続代行者選任届（様式第5号）、請求書（様式第7号）に用いる申請者の印鑑については、同一の印鑑で押印をお願いします。
- 本助成の目的に適していない場合の例としては、太陽のあたらない北側に壁面緑化や緑のカーテンを行う、1層に満たない高さで壁面緑化や緑のカーテンを行う等。
- 申請前に購入した資材については助成の対象となりません。申請受付後、審査結果通知書の日付以降の領収書が助成の対象となります。
- 工事途中、工事後の申請は助成の対象となりません。
- 殺虫・殺菌スプレー、液肥については、当初設置の際には特別必要なものではなく、維持・管理面での要素が強いため、助成の対象となりません。
- ホームセンター等で会員カード等により、会員割引のポイントを使用し、購入したものについては、実際に支払いを行った金額が対象金額となるため、ポイントで控除される金額については対象額に含みません。
- 以前に助成を受けた建築物に関して、別途助成の申請をしようとする場合、同一の助成対象工種である場合、助成の対象となりません。（例 当初、壁面緑化の助成を受けた後に再度、壁面緑化の申請をしようとする場合）ただし、前回申請から5年以上経過したものはこの限りではありません。
- 屋上緑化・壁面緑化を計画し、新築、増改築物件等で藤沢市緑の保全及び緑化の推進に関する条例（以下条例）に基づく緑化指導を受けている場合、指導範囲内の緑化は助成対象となりません。[ただし、条例（平成21年藤沢市条例第6号）第26条及び第29条に規定する（建物緑化の義務化）場合を除く。]
- 業者や資材メーカーを介さず個人で申請する場合でも、耐荷重などの事前調査や緑化の計画、施工方法、資材の調達は業者に相談することをおすすめします。なお、市では耐荷重等、建物の構造に関することは審査を行いません。
- 助成の種別の「個人居住用」と「事業用等」の違いについては、緑化の効果を複数人で享受できるか否かで線引きをしています。共同住宅の屋上面に緑化し、共用部（全居住者に効果のある緑化あるいは居住者に開放している）であれば「事業用等」扱いとします。共同住宅でもルーフバルコニーのような専用する場所での緑化については、「個人居住用」扱いとします。
- 計画平面図、見積明細書等については、植栽する樹種、使用する土壌植栽基盤材等に関して、規格、数量の明記をお願いします。
- 緑化可能面積及び緑化面積の取り方については、緑化可能面積はバルコニー等緑化する場所の全面積とします。緑化面積は助成対象となる面積（床部等助成対象外となる部分を除く面積。四阿等庇の下は対象外。植栽止め等で使用する縁石は含む）とします。緑化可能面積及び緑化面積のわかる求積図の添付をお願いします。
- 助成の対象額については、その他諸経費、荷揚げ費は対象としますが、他の工種の諸経費、荷揚げ費が含まれることのないように算出をお願いします。

- 完了報告書・完了検査願（様式第3号）が提出され現地在計画どおりに完成されていることを確認した後、助成金額が確定します。その後の助成金の支払いに関しては銀行等の口座に一括払いとなります。

#### [屋上緑化]

- 屋上緑化は、屋根や庇のない部分が助成対象となりますので、屋根がかかる部分は助成対象外となります。
- 屋上緑化を行うにあたって屋上面に施される防水工事は助成対象外となります。（助成対象工種は、植栽基盤工事と植栽工事です）
- 基本的には中低木も含めた立体緑化に対して助成することとしますが、建物の荷重制限がありやむを得ず、芝等のみで屋上緑化する場合は事前にご相談ください。
- 耐根シートの設置等検査時に目視で確認出来ないものについては、工事写真にて確認を行うので、完了時に工事写真の提出が必要となります。

#### [壁面緑化]

- 壁面緑化は、建物の壁面にツル性植物等を這わせて緑化するもので、道路際や隣地境界に設置したフェンスへの緑化は助成対象となりません。
- アーチ状のトレリスは建物に密着させる計画であれば、助成の対象となります。

#### [緑のカーテン]

- 緑のカーテンとは、壁面緑化が一年中建物をツル性植物等が覆うのに対し、夏期の暑い時期にゴーヤやアサガオなどの一年草のツル性植物をネットなどに匍わせ建物の窓を覆わせる、植物によるすだれ状のものを指します。夏の日差しを遮るとともに、葉から放出される水蒸気により周りの温度を下げ、室内が涼しく感じられます。冷房を使う回数が減らせるなど、ヒートアイランド対策にも効果的で、全国各地で取組みが進められています。
- 緑化計画平面図、立面図等については寸法等を入れていただき、計画概要が分かるものであれば手書きでも構いません。（記入例を参照）
- 助成については、1世帯1回限りとさせていただきます。

### 建物緑化のポイント

- 植物を育てる環境を整えましょう。  
屋上は風や日差しが強く植物が生育するには厳しい環境なので、植物を育てるための基盤や排水設備をしっかりと整えましょう。
- 緑化する場所に合った植物を選びましょう。  
屋上は、地上に比べて夏は高温になります。また、風も強いので背の高い植物は倒れてしまったり、土壌が風で飛んでしまうことがあります。重さに耐えきれないといった建物の制約から土壌を厚くできないこともあり、お好みの植物がうまく育たない場合もありますので、植物選びでお悩みの際はみどり保全課へご相談ください。
- 完成後の維持管理についても考えましょう。  
緑化した屋上を快適に利用していくためには、定期的に手入れをしなければなりません。計画段階から、どのように手入れするか、それにはどのくらい費用がかかるのかについても考えて、無理なく楽しめる緑化にしましょう。

## (7) 申請書類

藤沢市建物緑化助成金交付申請書（計画・計画変更・廃止）

第1号様式	藤沢市建物緑化助成金交付申請書	
	令和	年 月 日
藤沢市長 殿	住所	
	氏名	印
次のとおり申請します。		
1 事業名	建物緑化計画説明書(別記様式)のとおりに	
2 施工場所		
3 事業費		
4 計画概要		
5 着手予定年月日		
6 完成予定年月日		
7 添付書類		

藤沢市建物緑化助成金交付要綱第6条に基づき、別記様式のとおりに申請します。

藤沢市建物緑化助成金交付申請に当たり、私に係る藤沢市市税条例による市税、国民健康保険料等の納付状況について、貴職が、権限で調査することに同意します。

別記様式(第6条関係)

## 建 物 緑 化 計 画 説 明 書

計 画 場 所	藤沢市		
工 事 予 定 期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
建 築 物 所 有 者 等	住 所		
	氏 名		ビル名
申 請 人 連 絡 先 電 話 番 号 等			
敷 地 面 積	<input type="checkbox"/> 500㎡未満 <input type="checkbox"/> 1,000㎡未満・500㎡以上 <input type="checkbox"/> 1,000㎡以上		

助 成 基 準 工 種	数 量	備 考
屋上緑化(バルコニーの緑化を含みベランダの緑化を含まない)	㎡	
壁面緑化(壁面被覆面積)(ベランダの緑化を含まない)	㎡	
緑のカーテン	㎡	
合 計	㎡	
屋上(壁面)緑化面積(A)		㎡
屋上(壁面)緑化可能面積(B)	㎡	緑化率(A/B)
		%

添付書類      案内図、位置図、助成対象事業着手前の写真、緑化計画平面図・断面図

                 緑化工事見積書及び内訳明細書の写

                 建物の所有者がわかる書類(1部は写で可)

                 緑化面積求積図

                 その他該当する場合: 手続代行者選任届(第5号様式)

                 緑化協定時は既存緑化図

提出部数      各2部



藤沢市建物緑化助成金交付事業完了報告書・完了検査願

年 月 日

藤沢市長 殿

住所

氏名

印

- 1. 計画書のとおり事業が完了しましたので、藤沢市建物緑化助成金交付要綱第7条に基づき、報告します。
- 2. 藤沢市建物緑化助成金交付要綱第7条に基づき、完了検査をお願いします。

実 施 場 所	藤沢市
施 工 期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
工 事 施 工 者 ( 社 名 等 )	

請 求 予 定 金 額	円
-------------	---

添付書類 案内図、位置図、完了後の写真、完成平面図・断面図、緑化工事に係る収支精算書・内訳明細書及び領収書(写)

完 了 検 査 書

立会人(社名等)		氏名	
検 査 年 月 日	年 月 日	検 査 員 氏 名	印
検 査 結 果	合 格	不 合 格	
備考:立会人は、工事施工者(工事監督者等)も可とします。			

上記事業完了報告書に基づき検査した結果、完了したことを認めます。

課長	主幹	補佐	主査	担当	確認年月日	年 月 日
					起 案	年 月 日
					決 裁	年 月 日
					施 行	年 月 日



様式第5号

手 続 代 行 者 選 任 届

令和 年 月 日

藤沢市長 殿

住所

氏名

印

連絡先電話番号等

私は、次の者を藤沢市建物緑化助成金交付に係る手続の代行者として選任したので、その旨届けます。

手続代行者

住所

会社名

担当部署

担当者

印

連絡先電話番号等

※手続代行者選任届は、必ず申請者本人が自署ください。

様式第6号

藤沢市建物緑化助成金返還命令書

年(令和 年) 月 日

(住所)

(氏名)

様

藤沢市長

印

年(令和 年) 月 日付で交付しました令和 年度藤沢市建物緑化助成金(決定通知番号 )につきまして、下記の事由により 年(令和 年) 月 日までに当該助成金を返金すること。

返金事由

請 求 書

令和 年 月 日

藤沢市長 殿

住所

氏名

印

藤沢市建物緑化助成金について、次のとおり請求します。

補助金交付確定額										円
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※金額の頭に¥を記入してください。

【振込先】 \_\_\_\_\_ 銀行 \_\_\_\_\_ 支店

普通・当座 番号 \_\_\_\_\_

フリガナ  
口座名義 \_\_\_\_\_

様式第8号

藤沢市建物緑化助成金消費税額及び地方消費税額の確定に伴う報告書

令和 年 月 日

藤沢市長 殿

住所

氏名

印

連絡先電話番号等

令和 年 月 日付けで交付(確定)のありました令和 年度藤沢市建物緑化助成金(交付確定通知番号 )につきまして、藤沢市建物緑化助成金交付要綱第6条第4項の規定に基づき、次のとおり報告します。

- 1 補助金確定額(様式第4号交付確定通知書)

\_\_\_\_\_ 円

- 2 補助金の確定時における消費税等仕入控除額

\_\_\_\_\_ 円

- 3 消費税額及び地方消費税額の確定に伴う補助金に係る消費税等仕入控除額

\_\_\_\_\_ 円

- 4 補助金返還相当額

\_\_\_\_\_ 円

## 6 植栽樹種

屋上に樹木を植える際、大きくなる樹木は荷重制限などの点から適しません。また、背の高い草花は風で倒れる危険性があるので注意する必要があります。植え方としては、外周部に風や乾燥に強い樹木を植えて風をさえぎり、内部に草花を植栽するといいでしよう。地域の気候・風土にあった植物を選び無理のない計画を立てましょう。

### (1) 代表的な中高木植物



コノテガシワ (ヒノキ科)  
*Biota orientalis*  
花期：春 常緑  
上方伸長が遅く、樹高があまり高くならない。  
放任しても形が崩れにくい。  
列植に適する。



エレガンティシマ (ヒノキ科)  
*Thuja orientalis* cv.  
*Elegantissima*  
葉は春に黄金色からのちに黄緑色になり、冬には黄褐色を帯びる。  
放任しても樹形が崩れず管理の手間がかからない。



オリーブ (モクセイ科)  
*Olea europaea*  
花期：初夏 常緑  
成長はやや早い。  
土壌への適応力が高い。



カクレミノ (ウコギ科)  
*Dendropanax trifidus*  
花期：夏 常緑  
日陰にもある程度耐えられる。  
丈夫で刈り込みや剪定の必要がなく、管理が容易。



キンモクセイ (モクセイ科)  
*Osmanthus fragrans*  
var. *aurantiacus*  
花期：秋 常緑  
成長はやや遅い。  
枝葉が密生して球形の整った樹形になる。



ウバメガシ (ブナ科)  
*Quercus phillyraeoides*  
花期：春 常緑  
刈り込みに耐えるので、低木として刈り込んで利用することもある。  
成長は遅い。



ソヨゴ (モチノキ科)  
*Ilex pedunculosa*  
花期：初夏 常緑  
常緑広葉樹としては耐寒性に優れ、早期に樹形が安定する。成長はやや遅い。  
花は目立たない。



モクレン (モクレン科)  
*Magnolia quinquepeta*  
花期：春 落葉  
花は大型で、春先に葉に先立って咲く。



ベニカナメ (バラ科)  
*Photinia glabra* 常緑  
新葉が濃紅色で特に美しい。  
成長が早い。  
刈り込みにより枝葉が密生するので、生垣として使われることが多い。



ハナズオウ (マメ科)  
*Cercis chinensis*  
花期：春 落葉  
日向を好む。  
剪定を嫌うため、花付きの悪い枝などの剪定にとどめる。



ハナミズキ (ミズキ科)  
*Cornus florida*  
花期：春 落葉  
花と実と紅葉と三拍子そろった代表的な落葉花木で、メンテナンスフリー。  
ウドンコ病に注意。



ライラック (モクセイ科)  
*Syringa vulgaris*  
花期：春 落葉  
花に芳香があり、洋風向きの花木。  
湿潤な肥沃地で冷涼な気候を好む。湘南では生育やや悪い。





エゴノキ (エゴノキ科)  
*Styrax japonica*  
花期：春 落葉  
成長はやや早く、成長が止まる  
くらい花付きと結実が旺盛。果皮  
は有毒なので注意。



ウメ (バラ科)  
*Prunus mume*  
花期：初春 落葉  
成長が遅い。  
アブラムシ、コスカシバに  
注意。  
強剪定で花付きがよくなる。



ムクゲ (アオイ科)  
*Hibiscus syriacus*  
花期：夏～秋 落葉  
花は一日花だが次から次へ  
と咲き期間も長い。  
成長が早く、強い。

## (2) 代表的な低木植物



ハイバクシン (ヒノキ科)  
*Juniperus chinensis var.*  
*procumbens*  
枝が地を這って長く伸び、  
低い地被となる。  
耐潮性があり、管理も容易。



フィリフェラオーレア (ヒノキ科)  
*Chamaecyparis pisifera*  
*cv. Filifera Aurea*  
黄色の葉が美しい。  
日向を好む。乾燥に弱い  
が過湿にも弱い。



ヒペリカム (オトギリソウ科)  
*Hypericum patulum*  
花期：夏 常緑  
地下茎を伸ばして増え密に  
被覆するので、面的な利用  
に向いている。  
日向を好む。サビ病に注意。



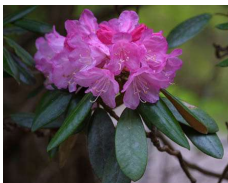
ハマヒサカキ (ツバキ科)  
*Eurya emarginata*  
花期：秋～冬 常緑  
成長はやや遅い。  
枝葉は密で耐潮性があり、  
大気汚染に強い。



アセビ (ツツジ科)  
*Pieris japonica*  
花期：春 常緑  
耐陰性・耐寒性がある。  
スズランのような花が美しい  
葉に毒がある。  
刈り込みに耐える。



アベリア (スイカズラ科)  
*Abelia X grandiflora*  
花期：夏～秋 常緑  
地際でよく分枝して倒卵形  
の樹形となる。  
乾燥には極めて強く刈り込  
みによく耐える。  
花期が長く昆虫を招く。



シャクナゲ (ツツジ科)  
*Rhododendron*  
*metternichii var.*  
花期：春 常緑  
腐食質に富んだ水はけのよい弱  
酸性土壌を好む。乾燥に注意。  
花は大型で美しい。



シャリンバイ (バラ科)  
*Rhapsiolepis umbellata*  
花期：晩春～初夏 常緑  
白いウメに似た花が咲き、  
芳香がある。  
耐潮性に優れ、海岸植栽に  
適する。樹形は横広がり。



ヒラドツツジ (ツツジ科)  
*Rhododendron spp.*  
花期：春 常緑  
耐寒性に優れるが、夏期の  
高温乾燥にあうとツツジグ  
ンバイ、ハダニが発生する  
ので注意。成長は早く、大  
気汚染に強い。



トベラ (トベラ科)  
*Pittosporum tobira*  
花期：春 常緑  
耐潮性・耐乾性があり、刈  
り込みによく耐え海岸植栽  
にも適する。カイガラム  
シ、アブラムシに加害され  
るとすす病が発生しやす



アジサイ (ユキノシタ科)  
*Hydrangea macrophylla*  
花期：初夏 落葉  
成長が早く、大気汚染に強い。  
日陰でも育つ。  
剪定で花付きをよくする。



ボケ (バラ科)  
*Chaenomeles speciosa*  
花期：春 落葉  
全体の樹形が乱れがちなので、剪定をして樹形を整える。



コデマリ (バラ科)  
*Spiraea cantoniensis*  
花期：春 落葉  
成長は早い。枝先が柔らかく垂れる姿に趣があるので、強い剪定はせずに枝を伸ばして楽しむ。



ヤマハギ (マメ科)  
*Lespedeza bicolor*  
花期：夏～初秋 落葉  
成長は早い。株立ち状で地際から多くの幹を群生しブッシュ状になる。晩秋に枯れた幹を刈り取る。



ヤマブキ (バラ科)  
*Kerria japonica*  
花期：春 落葉  
成長は早い。  
枝は細く緑色で、よく伸びて垂れ下がる。沢筋や法面に植栽することで趣が増す。



レンギョウ (モクセイ科)  
*Forsythia suspensa*  
花期：春 落葉  
成長は早い。  
樹勢が強く病害虫に耐え、耐寒性に優れる。  
剪定で樹形を整える。

### (3) グラウンドカバープランツ



コウライシバ (イネ科)  
*Zoysia matrella*  
地上および地下ほふく茎を有し、芝質がキメ細かく、繊細で美しい芝生をつくる。  
芝刈りが必要。



ノシバ (イネ科)  
*Zoysia japonica*  
コウライシバよりも葉幅が広く、芝はやや粗い種類。土壌をあまり選ばず、比較的管理が容易。



リュウノヒゲ (ユリ科)  
*Ophiopogon japonicus*  
花期：夏 常緑多年草  
日向から半日陰まで幅広く使える。被覆が完成すれば雑草も生えず、刈り込みの必要もない。



ワイリヤブラン (ユリ科)  
*Liriope platyphylla f. variegata*  
花期：秋 常緑多年草  
斑入りの明るい葉が魅力。耐陰性に優れる。夏の直射日光や乾燥、冬の乾寒風などで葉先が傷むことがある。



ギボウシ (ユリ科)  
*Hosta spp.*  
花期：夏～秋 多年草  
明るい日陰を好み、乾燥にもある程度耐える。  
斑入りなど、園芸品種が多数ある。宿根で増える。



フッキソウ (ツゲ科)  
*Pachysandra terminalis*  
花期：春 常緑  
夏の直射日光と乾燥に弱いので、日向での植栽は注意が必要。



シバザクラ (ハナシノブ科)  
*Phlox subulata*  
花期：春 常緑多年草  
寒冷地で生育がよい。夏の高温多湿により蒸れることがある。踏圧に弱いので、人の侵入のない場所に植える。



ヒメイワダレソウ (クマツツラ科)  
*Lippia repens*  
花期：夏  
丈夫で乾燥した土地でもよく育つ。被覆すると雑草が生えないので管理に手間がかからない。



## (4) ツル植物

壁面緑化する際には、壁面を下から上に向かって這わせるのか、上から垂らすのか、パネル型のシステムに植え付けるのかによって、適する植物が異なります。壁面への被覆方法と、植物の特性を考慮して植物を選びましょう。

### ①登らせるのに適するツル植物



ヘデラ (ウコギ科)  
*Hedera spp.*  
常緑ツル性木本  
平面、法面を匍匐、下垂、吸着登坂するものなどがあるので、その品種特性を生かして様々な利用が可能。



スイカズラ (スイカズラ科)  
*Lonicera japonica*  
花期：春 半常緑ツル性木本  
成長は旺盛。肥沃な土壌を好む。寒さに強い。



アケビ (アケビ科)  
*Akebia quinata*  
花期：春 落葉ツル性木本  
巻き付き登坂するので、パーゴラ等に絡ませるとよい。寒さに強い。



カロライナジャスミン (フジツギ科)  
*Gelsemium sempervirens*  
花期：春 常緑ツル性木本  
ジャスミンに似た芳香がある。生長が早く上方伸長が強いので、幼苗のうちに剪定し分枝を促すとよい。



クレマチス (キンボウゲ科)  
*Clematis spp.*  
花期：春 落葉ツル性木本  
水はけがよく強い西日が当たらない明るい場所を好む。浅根性で乾燥に弱いので、マルチングをするとよい。



モッコウバラ (バラ科)  
*Rosa banksiae*  
花期：春 半常緑ツル性木本  
日当たりと水はけのよい土に植え付ける。ツルには棘がなく扱いやすい。白花には芳香がある。



ノウゼンカズラ (ノウゼンカズラ科)  
*Campsis grandiflora*  
花期：夏 落葉ツル性木本  
丈夫で寒さに強く日当たりのよい場所であれば土を選ばずによく育つ。一日花だが次々と咲くため長く楽しめる。



トケイソウ (トケイソウ科)  
*Passiflora caerulea*  
花期：夏 落葉ツル性木本  
寒風が直接あたらない、日当たりと水はけのよい場所を好む。時計の文字盤を思わせる花が魅力。



フジ (マメ科)  
*Wisteria floribunda*  
花期：春 落葉ツル性木本  
日当たりがよい場所であれば土を選ばずよく育つ。生長が旺盛なので、小型の構造物には向かない。



ツルアジサイ (ユキノシタ科)  
*Hydrangea petiolaris*  
花期：晩春～初夏 落葉ツル性木本  
都会の乾燥と暑さを嫌うが、耐寒性は強い。湿度の高い湿潤な環境を好む。

他に・・・ナツツタ・キューイフルーツ・サネカズラ・ツルウメモドキ・ムベ等

### ②下垂させるのに適する植物



マツバギク (ツルナ科)  
*Lampranthus spectabilis*  
花期：春～秋 常緑多年草  
生命力、繁殖力は強いが、日陰地や過湿には特に弱い。



コトネアスター（バラ科）  
*Cotoneaster* spp.  
花期：初夏 常緑低木  
耐寒性がある一方、暑さや潮風にも強い。  
乾燥にも強く、土壌を選ばずに生育できる。



キソケイ（モクセイ科）  
*Jasminum humile* var. *revolutum*  
花期：春  
日当たりを好むが、ある程度の半日陰には耐える。放任しても高さ2メートル程度にしかならず、比較的育てやすい。



オオバイ（モクセイ科）  
*Jasminum nudiflorum*  
花期：春 落葉低木  
耐寒性に優れる。枝が細く長く伸びるので、下垂させると趣が出る。



ペチュニア（ナス科）  
*Petunia x hybrida*  
花期：春～秋  
春から秋頃まで咲き続ける。雨や暑さに強く、梅雨時に発生しやすい植物の病気にも強い。

他に・・・ヘデラ・アイビーゼラニウム・等

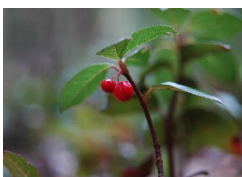
### ③植物パネルに植え込むのに適する植物



ツルマサキ（ニシキギ科）  
*Euonymus fortunei*  
花期：春 常緑ツル性木本  
大気汚染に強い。日当たりと水はけのよい土に植え付ける。うどんこ病とカイガラムシが発生しやすいので注意。



ティカズラ（キョウチクトウ科）  
*Trachelospermum asiaticum*  
花期：夏 常緑ツル性木本  
日当たりと水はけのよい肥沃な場所を好む。花には芳香がある。



ヤブコウジ（ヤブコウジ科）  
*Ardisia japonica*  
花期：夏 常緑低木  
耐陰性があり半日陰を好むので、常緑樹の木陰や建物の北側に植え付ける。強い光による葉焼けや乾寒風害に注意。



コクチナシ  
*Gardenia jasminoides*  
花期：初夏 常緑低木  
香りの高い白花が魅力。管理に手間がかからない。オオスカシバの食害に注意。

他に・・・ヘデラ・ヤブラン・リュウノヒゲ・マツバギク・木本性のグランドカバープランツ等

写真撮影：青木繁伸（群馬県前橋市）

## (5) 緑のカーテンに適する植物

	<p>ゴーヤ(ニガウリ)(ウリ科)  <i>Momordica charantia</i>            花期:夏            熱帯アジア原産で一年生のつる植物。            黄色い花が咲き、実は沖縄料理で有名なゴーヤ            チャンプルーの材料に使える。            病虫害が少なく生育が早い。実を大きく育てるに            はリン酸肥料を十分にし、窒素肥料を控え、適度            に花を間引く。</p>
	<p>セイヨウアサガオ(ヘブンリー・ブルー)(ヒルガオ            科)  <i>Pharbitis hederacea 'Heavenly Blue'</i> (<i>Ipomoea</i>  <i>tricolor</i>)            花期:夏            一年生のつる植物。セイヨウアサガオは明治時代            に渡来した。品種改良も多く、様々な色や大きさの            花を楽しむことができる。</p>
	<p>ヘチマ(ウリ科)  <i>Luffa cylindrica</i>            花期:夏            一年生のつる植物。黄色い花が咲き、実は汁物や            煮物などの料理や乾燥させてタワシにすることが            できる。病虫害が少ない。生育が早く大振りな葉            が窓を覆い緑のカーテン効果は大。</p>
	<p>ヒョウタン(ウリ科)  <i>Lagenaria siceraria var. gourda</i>            花期:夏            一年生のつる植物。ウリ科では、珍しく白い花を咲            かせる。実は水入れや容器など様々な用途に使用            することができる。</p>
	<p>キュウリ(ウリ科)  <i>Cucumis sativus</i>            花期:夏            一年生のつる植物。平安時代に渡来。食用でなじ            みが深い。</p>
	<p>フウセンカズラ(ムクロジ科)  <i>Cardiospermum halicacabum</i>            花期:夏~秋            一年生のつる植物、南米原産。寒さに弱い。紙風            船のような実をつけ、中に黒い5ミリくらいの丸い            種子がなる。</p>